

総合的な学習の時間

# ふかまちにここプロジェクト！

## ～今の自分たちができること～

日時：2月14日（水）第5校時

学年：3年（6名）

指導者：兼丸 千聖

育成をめざす資質・能力：主体性 思考力・判断力 表現力 知識・技能

## 1 単元について

## 地域や学校の特徴と教師の願い

深町は、山や川に恵まれた自然豊かな町であり、三原近郊では果樹の名産地として知られている。しかし、近年、高齢化や人口の減少により、耕作放棄地が増え、野生動物による農作物への被害も出ている。

そこで、本単元では、地域の課題である耕作放棄地の活用をテーマに学習を進めていく。さまざまな「人・もの・こと」とふれ合う体験活動を通して、深町の魅力や課題を知り、疑問や気付きを基に課題を設定し、課題を解決するために自分達にできることを考え、実行する姿を引き出したい。そして、本単元の学習を通して、さらに深町を愛し、地域に貢献できる児童を育成していきたい。

## 児童の実態

本学年の児童は、野生動物を生活の中で多く目撃したり、田畑の脇道を通って登校したりしており、自然の豊かさを深町の魅力と感じている。しかし、野生動物による農作物への被害や耕作放棄地の増加等、地域の課題には気付いていない。

12月のアンケート調査では、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」で100%、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」で83.3%の児童が肯定的な回答をしている。一方で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」では、肯定的な回答をした児童は66.7%にとどまっている。

## 学習の題材

本題材では、耕作放棄地の活用を通じた地域の活性化をテーマとして学習に取り組んでいく。仮の探究課題として、「サトウキビについて調べて、育てよう」とし、耕作放棄地を活用してサトウキビを栽培されている地域の方にサトウキビの育て方を教えていただく。その中で、耕作放棄地の増加が、野生動物による農作物への被害に繋がっているという地域の課題や、耕作放棄地を減らすために努力している人の存在について知ることで、「耕作放棄地を減らすために、自分達ができることを考え、実行しよう」という真の探究課題を設定させる。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとする意欲を生かしながら、地域や社会を良くするために何をすべきか考える力を高めることができる題材である。

## 単元の目標

地域の方と関わりながら、耕作放棄地の問題の解決に向けた取組を行うことを通して、地域の課題や地域のために努力している人の存在について理解し、地域を良くするために自分達ができることを考えるとともに、地域に親しみや愛着をもって貢献していこうとすることができるようにする。

## 2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

### (1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

#### ○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

農家の見学や地域の方との交流、インターネットや本の活用により、さまざまな角度から、深町の魅力や課題を捉えられるようにする。また、学校の周りを実際に探検し、耕作放棄地がいくつあるかを数えさせることで、深町にある耕作放棄地の多さを実感させるようにする。これらの活動を通して、より多くの人に耕作放棄地の問題について知らせ、協力を得る必要があることに気付かせ、耕作放棄地を減らすためのリーフレットを作る活動につなげていく。

#### ○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

地域の方の話を伺ったり、地域を探検したりして、耕作放棄地の増加により、野生動物による農作物の被害が出ているという深町の課題を探究することを通して、地域のために努力している人々の存在に気づき、自分達にできることを考えることができるようにする。

### (2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

#### ○国語科…「メモを取りながら話を聞こう」「パラリンピックについて調べよう」「案内の手紙を書こう」等

総合的な学習の時間で、地域の人へインタビューしたり、調べたことをまとめたり、地域の人に送る案内状を作成したりする際に、国語科で身につけたメモを取る力やまとめる力、手紙を書く力を生かすことができるようにする。

#### ○社会科…「農家の仕事」等

社会科の学習で、地域の桃農家を見学することを通して、野生動物による農作物への被害について知り、「耕作放棄地を減らすために自分達できることを考えたい」という思いをもつことができるようにする。

### (3) 学習ツールの活用

#### ○ICT機器

- ・課題の設定…Google Earth で深町の航空写真を見て、知っていることを出し合う。
- ・情報の収集…地域の探検で見つけたものや作物の成長の様子をカメラ機能で撮影したり、インターネットで調べたりする。
- ・整理・分析…視覚的に分かりやすく整理・分析できるよう、スライドを活用する。
- ・まとめ・表現…スライドやドキュメントを活用して、調べたことをまとめる。

#### ○思考ツール

学習の目的に合う場面で思考ツールを活用し、思考ツールの良さを感じられるようにする。

- ・地域のために自分達ができることを分類する場面・・・KJ法
- ・リーフレットに載せる写真を選ぶ場面・・・ピラミッドチャート

### 3 単元の評価

#### (1) 内容のまとまりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準	
知識・技能	知識	深町のさとうきびや耕作放棄地について知るとともに、耕作放棄地の増加が、野生動物による農作物への被害に繋がっているという地域の課題や、耕作放棄地を減らすために努力している人の存在や取組について理解している。	
	技能	地域の方へのインタビューや地域の探検などによる調査を、目的や場面に応じた方法で実施している。	
	探究的な学習の良さの理解	地域をよくするために自分達にできることを考えようとする気持ちの高まりは、耕作放棄地の課題と解決策について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	思考力・判断力	深町のためにできることをもとに課題を設定し、解決の見通しをもっている。
	「情報の収集」		必要な情報をインタビュー、インターネット、本等の多様な方法で収集している。
	「整理・分析」		耕作放棄地を減らすために自分達にできる取組を取捨選択したり、複数の情報を比較し、より良いものを選んだりしながら、解決に向けて考えている。
	「まとめ・表現」	表現力	相手に伝わるように、理由や根拠を示しながら自分の考えを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	活動の中で、自分の特徴や良さを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。	
	主体性・協働性	耕作放棄地という地域の課題の解決に向けてより良い方法を選択し、自分ができることを見つけ、行動しようとしている。	
	将来展望・社会参画	耕作放棄地という地域の課題の解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。	

#### (2) 子どもルーブリック

知識・技能および 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】	計画を立てて、耕作放棄地を減らすために行動する。	計画を立てて、耕作放棄地を減らすために自分から行動する。
	思考・判断・表現	【思考力・判断力】 自分の考えと理由をもつ。	自分の考えとみんなが納得するような理由をもつ。
	【表現力】	自分の考えと理由を最後まではっきりと伝える。	自分の考えと理由を最後まではっきりと、相手に分かりやすく伝える。
知識・技能		耕作放棄地の問題や解決策について知っていることやできることを増やす。	耕作放棄地の問題や解決策について知っていることやできることを生かす。

4 指導計画 (全 60 時間 本時 54/60) ♥三原だるまプラン:「ショック発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
一 テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究 (25)	<b>課題の設定</b> 主  <b>情報の収集</b> 知 整理・分析 思  <b>まとめ・表現</b> 表	<p>○深町にどのようなものがあるか知っていることを交流する。(1) ○深町を探検し、どのようなものがあるか調べる。(2)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">             田んぼや畑がいっぱい。家の横で野菜を育てている人も多いね。         </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">             地域の方が、自分の畑でも育てているサトウキビの育て方を教えてくれるんだって。         </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">             仮の探究課題：サトウキビについて調べて、育てよう。         </div> <p>○地域の方に教えていただきながら、学校の畑にサトウキビを植える。(2) ○サトウキビについてインターネットで調べ、分かったことを交流する。(2)</p> <p>○地域の方に教えていただきながら追肥や草取り等のサトウキビの世話をし、観察する。(10) ○サトウキビの育て方や観察記録を適切な方法でまとめる。(8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・行動観察</li>   <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・発言</li> <li>・行動観察</li>   <li>・新聞</li> </ul>
二 真の探究課題の設定・探究 (33)	<b>情報の収集</b> 知  <b>課題の設定</b> 主  <b>情報の収集</b> 主 知 整理・分析 思 まとめ・表現 表 <b>情報の収集</b> 知  <b>整理・分析</b> 思 まとめ・表現 表	<p>♥<b>深町の耕作放棄地の多さや、それによって起こる問題を知る。</b> ○耕作放棄地を借りて、サトウキビを育てている方に耕作放棄地があるとどのような問題があるのかについてのお話を聞く。(1)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">             耕作放棄地があると良くないんだ。耕作放棄地を減らしていきたいな。         </div> <p>○耕作放棄地が多いという問題状況を捉え、探究課題を設定する。(1)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">             真の探究課題：耕作放棄地を減らすために、自分達にできることを考え、実行しよう。         </div> <p>○耕作放棄地を減らすための具体的な活動を考える。(1) ○地域の方の畑を手伝う。(5) ○耕作放棄地の問題や活用法について、町の人に発表する準備をする。(10)</p> <p>○発表参観日で、耕作放棄地の問題や活用法を発表する。(1)</p> <p>○育てたサトウキビをしばって黒蜜を作り、レシピを調べてスイーツを作る。(3)</p> <p>○耕作放棄地の問題や活用についてのリーフレットを作り、公民館に置いてもらう。(8)【本時】</p> <p>○お世話になった地域の方を学校に招き、「感謝の会」を開く。(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・発言</li>   <li>・発言</li> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li>   <li>・行動観察</li> <li>・発言</li>   <li>・リーフレット</li>   <li>・行動観察</li> </ul>
三 活動のまとめ・評価 (2)	<b>まとめ・表現</b> 主 表	<p>○単元の学習を振り返り、自己の成長について発表し合う。(1) 【自己評価】【相互評価】 ○単元を振り返り、来年度の学習のために、成果や課題をまとめる。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・発言</li> </ul>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

リーフレットに載せる写真を、相手や目的を意識し、理由をつけて選ぶことができる。

(2) 子どもルーブリックでの評価規準（整理・分析力のルーブリック）

B：リーフレットに載せる写真を、理由をつけて選んでいる。

A：リーフレットに載せる写真を、相手や目的を意識して、理由をつけて選んでいる。

(3) 本時の展開


	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法） 本校で育成を目指す資質・能力の評価 （評価方法）
課題の設定 7分	<p>1 前時までの学習を想起し、課題を設定する。</p> <p>・地域の人に耕作放棄地のことを知ってもらうために、リーフレットを作っているよ。</p> <p>・今日は、耕作放棄地のページの写真を選ぼう。</p> <p>・どんな写真を選べば、読む人に分かりやすいかな。</p>	<p>○毎時間、リーフレットを作る目的や読んでもらう相手について全体で確認することで、目的意識、相手意識をもって活動できるようにする。</p> <p>○前時までに選んだ写真が入ったリーフレットを提示することで、完成のイメージをもたせる。</p>
	<p>2 探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <p>・整理・分析</p> <p>・思考・判断力</p>	<p>○全員で育成をめざす資質・能力として、本時で身に付ける力を設定し、思考・判断力の姿を共通認識できるようにする。</p>
整理・分析① 15分	<p>3 リーフレットに載せる写真を選ぶ。</p> <p>ピラミッドチャートを使って考えよう。</p>	<p>○ピラミッドチャートを使って、理由を話し合いながらGoogleスライドに順位付けを行うことで、どの写真が読む人に分かりやすいか整理できるようにする。</p> <p>○まず、全体で、文章に合っているかどうかを確認するために、文章に印を付けながら、「文章にぴったり（○）」な写真を選ぶ。次に、個人思考で理由を考えさせながら、「より伝わる（花丸）」の写真を選ばせる。</p>
整理・分析② 15分	<p>4 全体で意見を交流する。</p> <p>どの写真を選べばよいか、理由をつけて発表しましょう。</p> <p>・私は、畑を荒らしているいのししの絵が良いと思います。わけは、かわいいいのししの絵よりも、いのししが野菜や果物を食べて大変なことが、地域の人に伝わると思うからです。</p>	<p><b>教師の「出」</b></p> <p>○発言の意図がはっきりしない時は、他の児童に「○○さんの意見は、～ということだと思います。」と説明させたり、教師が「それは、～ということですか。」と確かめたりする。</p> <p>★リーフレットに載せる写真を、理由をつけて選んでいる。（発表・スライド）</p>

まとめ・ふりかえり 8分	5 本時の活動を振り返り、学習したことをまとめる。 今日の振り返りを書いて交流しましょう。	○振り返りは、分かったことと例の2文で書かせる。  ○資質・能力の振り返りは、◎○△で自己評価させる。
	・「大変だ」「がんばっているな」が伝わる写真を選ぶと良いことが分かりました。例えば、普通の桃の木の絵より、動物のせいで折れた桃の木の絵の方が、大変さがよく伝わるからです。	

## 6 板書計画

こうさくほうき地をへらすために、地いきの人が「なるほど」「たいへんだ!」「やってみよう!」と思えるリーフレットを作ろう。

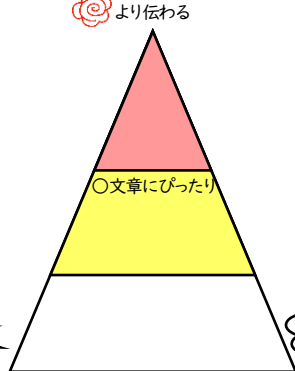
か 読む人に分かりやすいリーフレットになるように、写真をえらぼう。



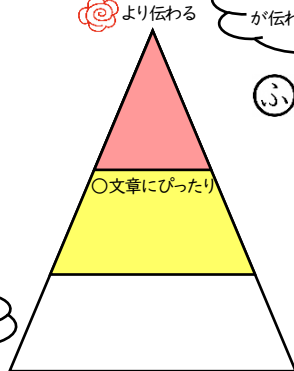
○写真をえらぶ。(理由も)  
 ◎+みんながなっとく

ま ○と○の写真をのせる。

深町には、いろいろな所に、こう作放き地があります。こう作放き地がふえると、イノシシやシカ、ヌートリア、ハクビシンなどの野生動物が山から下りて来て、畑で育てている野菜を食べてしまいます。もも農家のためきよさんは、イノシシにももを食べられてしまうことがあるそうです。イノシシが来た音がしたら、畑を見に行っているそうです。

◎より伝わる  


野生動物が山から下りて来ないようにするためには、草をかたり、何かを植えたりすることが大切です。三原市に住んでいる前西さんは、こう作放き地だった所をきれいにして、野菜を育てています。

◎より伝わる  


「たいへんだ」「がんばっているな」が伝わる写真をえらぶとよい。

い ~が分かった。  
 たとえば、~。

たいへんだ!

がんばっているな